別記様式第１号（第６条関係）

　　研究奨励費等支給対象学生研究計画書

　（次世代研究者挑戦的研究プログラム/次世代AI人材育成プログラム）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学位プログラム名  又は専攻名 |  | | |
| フ　　リ　　ガ　　ナ  氏　　 　　　　　名 |  | | |
| 学籍番号 |  | 生年月日 | （西暦） 年 月 日生（ 歳） |
| 現住所・連絡先 | 〒  TEL  E-mail　　　　　　　 　@ | | |
| 採用希望期間 | 年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日（　　　月） | | |
| 指導教員所属・氏名 | （所属・職名）  （氏名） | | |
| 他の支援経費等の  受給状況等 | ・　採用期間に受給予定の項目があれば、□にチェックを入れること。  　□　国費による支援又は外国人留学生で日本政府（文部科学省）奨励金  　□　（独）日本学術振興会の特別研究員（ＤＣ）  □ （独）科学技術振興機構 創発的研究支援事業リサーチアシスタント（RA）  等、年額240 万円年以上の対価を得るRA  本学以外の機関で従事する場合  （機関名： 年額： 　　）  　□　母国の奨学金又は筑波大学独自の奨学金※  　　　　（奨学金名：　　　　　　　　　　　　　年額：　　　　　　　　　　）  　□　その他  　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　□　受給等の予定はありません。  ・　また、以下に該当する場合は、□にチェックを入れること。  　□　所属する企業等から生活費相当額として十分な水準（２４０万円以上／年）  の給与、役員報酬等の安定的な収入を得ている。 | | |
| 研究題目名 |  | | |
| 前年度等研究業績 | ・　以下の項目に該当するもの又は特筆する研究業績等があれば記載してください。また、それを証明する資料も適宜添付してください。この場合、当該資料の表紙と申請者の氏名が記載されている箇所の２ページ程度を想定しています。多量の資料の添付は必要ありません。  (1)　学術雑誌等（紀要、論文集等を含む。）に発表した論文又は著書  (2)　学術雑誌等又は商業誌における解説又は総説  (3)　国際会議における発表又は国内学会、シンポジウム等における発表  (4)　その他（特許、受賞歴等） | | |

（裏面）

|  |
| --- |
| 研究計画書（2,000字程度）  ①研究概要を500字程度で記入してください。  以下を1500字程度で記入してください。  ⓶学際的な研究内容との関連性、見込まれる業績・成果（持続可能な開発目標（SDGs）への貢献又は長期的な人類社会への貢献）についての説明  ③企業等での長期インターンシップや海外での研究活動等のキャリア開発の計画等 |
|  |

　申請に当たっては、虚偽の記載はありません。

　また、採用期間中は、研究奨励費等支給対象学生として教育課程の履修、教育研究に専念いたします。

　研究費については、指導教員の指導の下、不正のないように執行いたします。

　　　年　　　月　　　日

　　　　　　申請者　 （署名）

　　　　　　指導教員確認

　　　　　　　 　　（所属・職名）

（署名）

別記様式第１号別紙（第６条関係）

**【研究計画】**適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。様式の変更・追加は不可です。

**(1) 研究の概要及び位置づけ**　本項目は１頁に収めてください。

取り組む研究の概要及び位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

**【研究計画】（続き）**適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。様式の変更・追加は不可です。

**(2) 研究目的・内容等**本項目は２頁に収めてください。

① 取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、自身の応募区分（該当する支援年数）に応じて、年次計画を示し、具体的に記入してください。研究計画が想定通り進まなかった場合の対応方法があれば、あわせて記入してください。

③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

⑤ 研究計画の期間中に本学と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

*（注）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・海外の研究者との交流、海外での研究など海外研さんに関する計画がある場合には、積極的に記入してください。*

**人権の保護及び法令等の遵守への対応** 本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可です。

　本欄には、「研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究や安全保障貿易管理を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を記入してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、行動調査（個人履歴・映像を含む）、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、インフォームド・コンセントが必要な研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験、機微技術に関わる研究など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。

　なお、該当しない場合には、その旨記入してください。

**【研究遂行力の自己分析】**本項目は２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可です。

これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、研究遂行力について分析してください。

*（注）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）がある場合には、まず成果物の一覧を掲載し、見出し番号を付してください。続く文章では、適宜成果物に言及しながら（言及の際には見出し番号で示すこと）記入してください。*

*・成果物（論文等）は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。*

*・学術論文の場合：* *著者、題名、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載し、査読の有無を明らかにしてください。**投稿中で採録が決定していない場合は、「投稿中」と記載してください。*

*・研究発表の場合： 著者、題名、発表した学会名、場所、**年・月を記載し、口頭・ポスターの別を明らかにしてください。*

*【成果物一覧の例】*

*１．論文　・・・・・*

*2．論文　・・・・・*

*3．研究発表（口頭）　・・・・・*

*4．受賞*

*・記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*・今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素や意欲的に取り組みたいと考えている事項についても記入してください。*

学籍番号及び氏名